

～次世代モビリティの社会実装を目指して～ Map-NAGOYAについて



Map-NAGOYA
Mobility access point NAGOYA

2026年2月12日

中部経済連合会
社会実装推進部

▶中部経済連合会(広域経済団体)の役割 :

中部圏の産業振興に向け、各種のやり方※で社会実装を牽引

※意見集約・提言、機運醸成(シンポジウム等)、連携組織の構築・運営・活動(プラットフォーム等)、等



～次世代モビリティ(陸モビリティ&空モビリティ)～

▶目指している事 :

モビリティ産業のエコシステム化に向け、産学官の共創連携を推進め、引き続き中部圏が中心地であること

中部次世代モビリティ実装プラットフォーム(CAMIP)

目的：来るべきモビリティ産業のエコシステム化に向けて、産官学Win-Win共創連携を推進、次世代モビリティ創出と実装を目指す

CAMIP設立
(2021年5月)

シンポジウムやマッチングイベントを継続的に開催
CAMIPの意義を発信し、数千人規模へと拡大中



名古屋大学
森川教授

中経連
水野会長

東海国立大学機構
松尾機構長

中経連
佐々木委員長

中部先進モビリティ実装プラットフォーム

Chubu Advanced Mobility Implementation Platform
CAMIP

自動車産業の世界的中心地、中部圏において
・CASE/MaaS革命を地域に実装し社会に還元
・研究開発促進のための産学官プラットフォーム構築

3つの取り組み

- ① 地域や風土に応じた「モビリティまちづくり」の企画・設計
- ② 「モビリティまちづくり」を社会実装し、パッケージを進化
- ③ ビジネスモデルや要素技術を自らイノベーション

中経連会員企業、自治体、大学、研究機関が連携、組織マッチングやモビリティ共通基盤の開発を実施(幹事役は中経連と名大モビリティ社会研究所)

自治体A

実装PJ A

自治体B

実装PJ B

- 各地域の特性にあわせた実装プロジェクトの遂行
- 共通基盤の構築
 - ▶ 共通基盤モビリティ
 - ▶ 結節点基本仕様
 - ▶ エネルギー供給システム
 - ▶ 共有データ基盤

自治体C

実装PJ CD

自治体D

中部先進モビリティ実装プラットフォーム

民間企業

名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、岐阜大学、静岡大学、愛知県立大学、名城大学、大同大学、豊田市都市交通研究所



Map-NAGOYA
Mobility access point NAGOYA



▶Map-NAGOYAの目的 :

中部経済産業局のMEET_UP_CHUBEと共催して、
次世代モビリティに関わるシーズ技術情報の発信、及び
産官学共創連携を目指すマッチング



▶これまでの活動 :

～CASE, MaaS等を背景とした100年に一度の大変革時代～

陸モビリティ、空モビリティを中心に、新たに創出される次世代
モビリティも含め、これらに関わる各種シーズ技術とのマッチング

▶今年度の活動の特徴 : 「SDV」に関わるシーズ技術を取上げる

SDV(ソフトウェア定義車両)とは？

<世の中の流れ> ~2024年は、SDVが“量産競争“に入った元年～

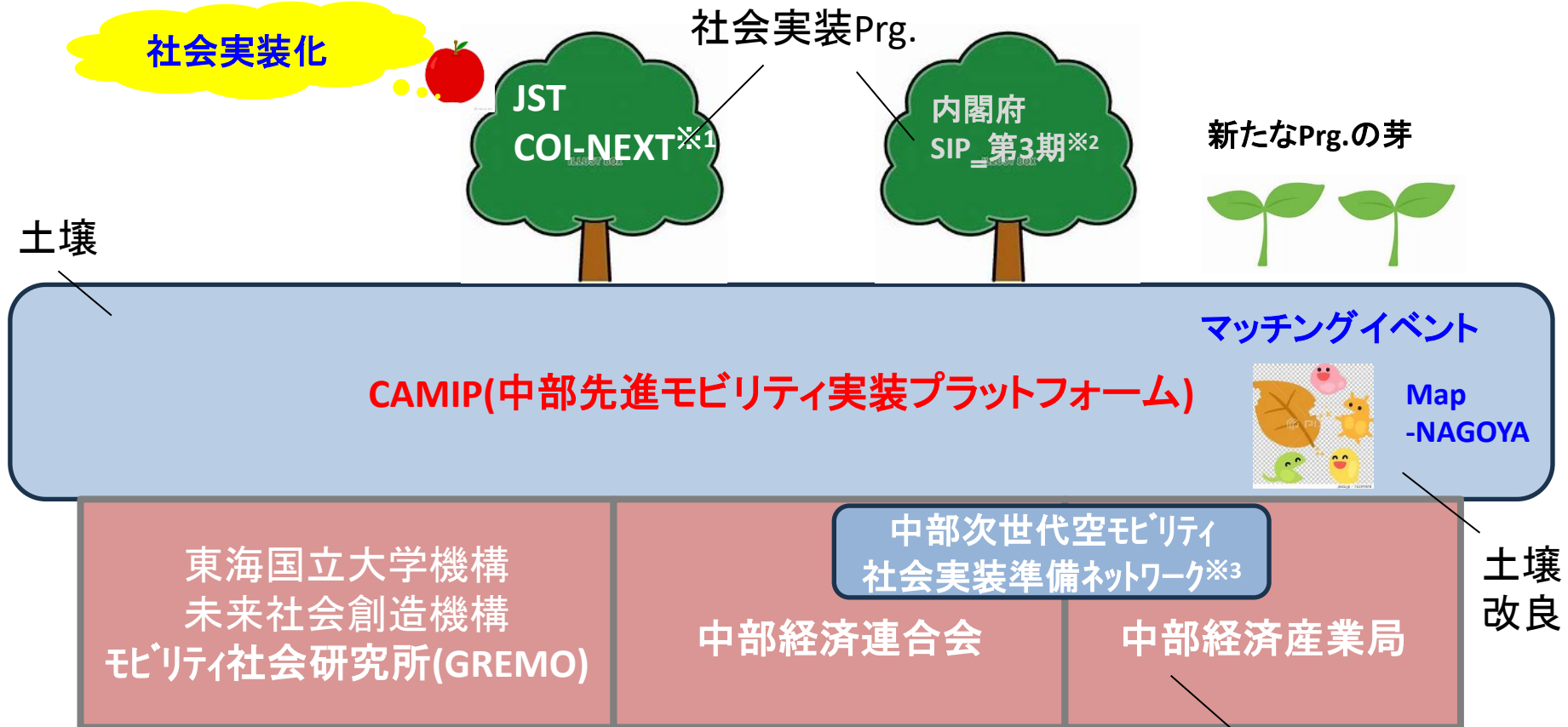
・米テスラや中国BYDを中心に、「**クルマのスマホ化**」が**加速**

→ あとから**ソフトウェアをアップデート**することで、
機能・価値を継続的に拡張できるクルマ … SDV(ソフトウェア定義車両)

・経産省は、「モビリティDX戦略(2024年5月)」で、**SDVを自動車政策の中核**に据える



Tesla	BYD	Toyota
自動運転を核に ソフトで走るクルマ を先駆的に導入	UIと量産で 誰でも使えるスマートカー を積極的に導入	品質・安全を軸に 日本勢初の本格SDV を投入
Model 3、Model Y	Dolphin、ATTO3、Seal	6代目RAV4 (Arene初採用)



※1: テーマ「地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点」@2022年10月採択

※2: テーマ「先進的モビリティシステムを活用したスマート・ディストリクトの構築」@2023年10月採択

※3: 「中部次世代空モビリティ社会実装準備ネットワーク」立上げ@2023年10月

2022年10月には、GREMO主導の「COI-NEXTプログラム」の幹事機関として、2023年10月には、中部経済産業局主導の「中部次世代空モビリティ社会実装準備ネットワーク」の幹事機関として参画 ⇒ これらをバックボーン組織として、CAMIPは技術の社会実装化を後押しする

これまでの取り組み@2021.5~2026.2(4年10ヵ月)

実績 : CAMIPの活動は、名大GREMOとの連携で、シンポジウムや産官学での**マッチングイベント**を継続的に開催。10回のCAMIPイベント、6回のMap-NAGOYAを開催

CENT Pitch 拡大版#2	2021.11.11	(東海地方のスタートアップ紹介)
CAMIP #2	2021.11.02	モビリティプロジェクト紹介
NAPP #3	2021.12.15	Mobility & Carbon Neutral
CAMIP #3	2022.03.10	静岡における「MaaS×情報銀行」
CAMIP #4	2022.12.21	COI-NEXTの紹介
Map-NAGOYA #1		モビリティ関係の技術・シーズ紹介
CAMIP #5	2023.03.14	MaaSに関する講演 (牧村和彦氏)
Map-NAGOYA #2	2023.03.23	モビリティ関係の技術・シーズ紹介
Map-NAGOYA #3	2023.08.10	モビリティ関係の技術・シーズ紹介
CAMIP #6	2023.10.10	電動化に関する講演 (寺師茂樹氏)
Map-NAGOYA #4	2024.02.29	モビリティ関係の技術・シーズ紹介
CAMIP#7	2024.03.27	次世代空モビリティをテーマ化
Map-NAGOYA #5	2024.8.22	モビリティ関係の技術・シーズ紹介
CAMIP#8	2024.11.22	次世代空モビリティ_ユースケース
Map-NAGOYA #6	2025.2.13	モビリティ関係の技術・シーズ紹介
CAMIP#9	2025.03.26	D2D-PRTの共創に向けて
CAMIP#10	2025.11.20	ドローンと自動走行車両との連携物流システム



第6回Map-NAGOYA (参加者:376名)
次世代モビリティの技術・シーズ紹介



第9回CAMIP (参加者:407名)
世界初のDoor-to-Door PRTの共創に向けて

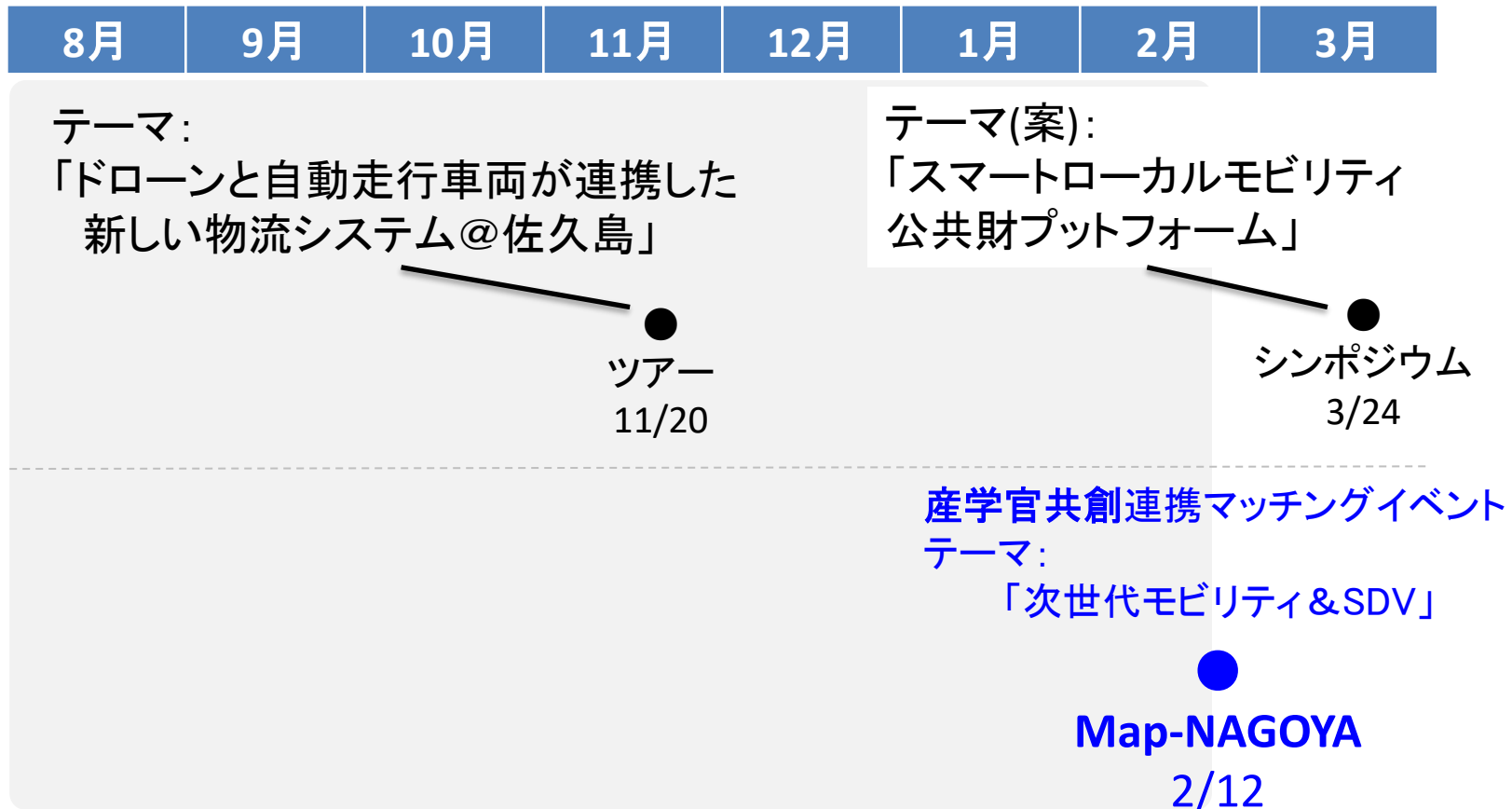


第11回CAMIP (参加者:54名)
ドローンと自動走行車両が連携した
新しい物流システム@佐久島



陸モビリティ、空モビリティを中心とした次世代モビリティの機運醸成に加え、社会実装が視野に入ってきた技術に対しては、社会受容性の向上を目指した取り組みを推進中

【CAMIP活動計画】



※青字:MEET UP CHUBU共催